



2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年9月28日

上場会社名 株式会社セキチュー 上場取引所 東
コード番号 9976 URL <http://www.sekichu.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関口 忠弘
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理部長 (氏名) 霜鳥 守雅 (TEL) 027(345)1111
四半期報告書提出予定日 2023年9月29日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の業績(2023年2月21日~2023年8月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	15,391	△1.1	606	△20.0	639	△19.4	441	△16.4
2023年2月期第2四半期	15,557	—	758	—	793	—	528	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2024年2月期第2四半期	82	01	—	—				
2023年2月期第2四半期	98	04	—	—				

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期会計期間の期首から適用しており、2023年2月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	19,058	10,967	57.5
2023年2月期	18,489	10,648	57.6

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 10,967百万円 2023年2月期 10,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年2月期	—	00.00	—	30.00	30.00	00
2024年2月期	—	00.00	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年2月期期末配当金の内訳 特別配当 10円00銭

3. 2024年2月期の業績予想(2023年2月21日~2024年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	30,000	△3.1	600	△20.2	650	△19.5	450	△5.8	83	55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年2月期2Q	5,586,150株	2023年2月期	5,586,150株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年2月期2Q	200,192株	2023年2月期	200,192株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年2月期2Q	5,385,958株	2023年2月期2Q	5,385,958株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され、社会経済活動正常化が進みました。一方で長期化するウクライナ情勢や、世界的な金融引き締め等の影響による円安の進行によりエネルギー・原材料価格をはじめ様々な物価が上昇しており、先行きは不透明な状態が続いております。

ホームセンター業界におきましては、依然として激しい競争環境の中、物価上昇を背景とした商品仕入れ価格の高騰、販売費及び一般管理費の増加、例年になく天候不順の影響もあり、厳しい状況で推移しております。

このような状況のもと、当社は、＜「挑戦」～全員参加で地域密着型の安心・安全なインフラ店舗をつくろう～＞を当事業年度のテーマに掲げ、物価や社会情勢、生活様式が激しく変化し、先行きの見通しが難しい中で、変わらず地域のお客様に支持していただける店舗を作る為、全従業員一丸となって取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の営業収益は153億9千1百万円(前年同期比1.1%減)となりました。営業利益は6億6百万円(同20.0%減)、経常利益は6億3千9百万円(同19.4%減)、四半期純利益は4億4千1百万円(同16.4%減)となりました。営業収益は天候不順の影響もあり前年同期比で若干の減少、各利益についても物価上昇が進む中、経費の削減に努めたものの前年同期比で減少の結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べ5億4千3百万円増加し、93億2千7百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2億7百万円、棚卸資産が3億6千8百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末と比べ2千5百万円増加し、97億3千万円となりました。これは主に、差入保証金が1億4百万円減少しましたが、有形固定資産が9千3百万円、無形固定資産が9千1百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は、前事業年度末と比べて5億6千9百万円増加し、190億5千8百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べ9千2百万円増加し、71億6千5百万円となりました。これは主に、その他(未払金)が1億3千9百万円減少しましたが、買掛金が2億3百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末と比べ1億5千7百万円増加し、9億2千5百万円となりました。これは主に、その他(受入保証金)が2億2千6百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比べ2億5千万円増加し、80億9千万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べ3億1千9百万円増加し、109億6千7百万円となりました。これは主に、利益剰余金が2億8千万円増加したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ2億7百万円増加し10億6千万円となりました。当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、3億5千1百万円(前年同四半期は、4億4千2百万円の獲得)となりました。これは主に、棚卸資産の増加額が3億6千8百万円ありましたが、税引前四半期純利益が6億3千6百万円、減価償却費が1億7千5百万円あったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、1千7百万円(前年同四半期は、1億1千2百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得が2億4百万円、無形固定資産の取得が1億1百万円ありましたが、預り保証金の受入による収入が2億2千9百万円、差入保証金の回収による収入が1億1千3百万円あったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億6千1百万円(前年同四半期は、4億4千6百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額が1億6千1百万円あったこと等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期通期の業績予想については、2023年3月30日に公表した2023年2月期決算短信の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月20日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	853,187	1,060,894
売掛金	857,535	843,370
棚卸資産	6,696,376	7,064,487
その他	376,717	358,916
流動資産合計	8,783,817	9,327,669
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,448,016	2,452,263
土地	1,923,243	1,923,243
その他(純額)	757,188	846,221
有形固定資産合計	5,128,448	5,221,728
無形固定資産	257,366	348,510
投資その他の資産		
差入保証金	3,256,777	3,152,070
その他	1,062,645	1,008,509
投資その他の資産合計	4,319,422	4,160,579
固定資産合計	9,705,237	9,730,818
資産合計	18,489,054	19,058,487
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,623,686	4,827,227
短期借入金	900,000	900,000
未払法人税等	142,158	232,019
賞与引当金	78,175	83,817
契約負債	344,220	378,287
資産除去債務	15,254	500
その他	969,229	743,426
流動負債合計	7,072,724	7,165,277
固定負債		
役員退職慰労引当金	53,453	53,453
資産除去債務	363,896	367,248
その他	350,843	504,949
固定負債合計	768,192	925,651
負債合計	7,840,917	8,090,928

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月20日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,921,525	2,921,525
資本剰余金	3,558,349	3,558,349
利益剰余金	4,209,563	4,489,692
自己株式	△205,931	△205,931
株主資本合計	10,483,506	10,763,636
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	164,630	203,922
評価・換算差額等合計	164,630	203,922
純資産合計	10,648,136	10,967,559
負債純資産合計	18,489,054	19,058,487

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年2月21日 至2022年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自2023年2月21日 至2023年8月20日)
売上高	15,244,763	15,064,385
売上原価	10,604,842	10,551,382
売上総利益	4,639,921	4,513,003
営業収入		
不動産賃貸収入	312,304	326,807
営業総利益	4,952,226	4,839,810
販売費及び一般管理費	4,194,099	4,233,365
営業利益	758,127	606,445
営業外収益		
受取利息	8,326	6,915
受取配当金	6,627	7,289
受取手数料	5,989	5,717
受取保険金	2,487	3,610
その他	14,684	14,672
営業外収益合計	38,114	38,206
営業外費用		
支払利息	2,130	2,062
固定資産除却損	234	3,075
その他	624	422
営業外費用合計	2,990	5,560
経常利益	793,251	639,090
特別損失		
減損損失	15,582	2,646
特別損失合計	15,582	2,646
税引前四半期純利益	777,668	636,444
法人税、住民税及び事業税	240,015	181,116
法人税等調整額	9,591	13,619
法人税等合計	249,606	194,736
四半期純利益	528,061	441,708

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年2月21日 至 2022年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年2月21日 至 2023年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	777,668	636,444
減価償却費	181,415	175,193
減損損失	15,582	2,646
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,747	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,027	5,642
契約負債の増減額(△は減少)	△7,527	34,066
解約損失引当金の増減額(△は減少)	△10,031	—
受取利息及び受取配当金	△14,953	△14,205
支払利息	2,130	2,062
固定資産除却損	234	3,075
受取保険金	△2,487	△3,610
売上債権の増減額(△は増加)	△137,049	14,165
棚卸資産の増減額(△は増加)	△421,956	△368,111
仕入債務の増減額(△は減少)	122,414	203,541
未払消費税等の増減額(△は減少)	117,070	△32,660
その他	△144,501	△224,154
小計	481,289	434,094
利息及び配当金の受取額	7,318	7,521
利息の支払額	△2,130	△2,062
保険金の受取額	2,487	3,610
法人税等の支払額	△46,531	△91,736
営業活動によるキャッシュ・フロー	442,433	351,427
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△220,852	△204,955
無形固定資産の取得による支出	△388	△101,149
有形固定資産の売却による収入	612	1,443
資産除去債務の履行による支出	—	△14,754
投資有価証券の取得による支出	△2,334	△1,798
貸付金の回収による収入	990	990
差入保証金の回収による収入	109,663	113,978
差入保証金の差入による支出	—	△2,587
預り保証金の返還による支出	—	△3,400
預り保証金の受入による収入	—	229,584
その他	26	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112,282	17,347
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	—
長期借入金の返済による支出	△38,862	—
配当金の支払額	△107,732	△161,067
財務活動によるキャッシュ・フロー	△446,594	△161,067
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△116,443	207,707
現金及び現金同等物の期首残高	1,112,657	853,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	996,213	1,060,894

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。